

インドネシア活動報告⑬

株式会社マジオネット

JICA 青年海外協力隊 2016 年度 2 次隊

山口 麗子

【今月(6/20~7/16)の活動】

- ・南タンゲラン市教育局赴任
- ・授業計画作成、模擬授業
- ・学校訪問(計 2 校)
- ・ヒカリ小学校始業式
- ・縁日祭清掃活動

◎南タンゲラン市教育局赴任

7/2、南タンゲラン市教育局に配属先が決定し、約 2 ヶ月半ぶりに自身の活動を再開した。南タンゲラン市は首都ジャカルタから車で 1 時間の場所にある比較的発展した地域である。ここでの活動要請内容は JICA 草の根技術協力プロジェクトにて開発された「環境」教科の教材について、どのような指導の方法が効果を得られるのか、授業を行いながら現地教師と検討し、事例及びデータ収集



配属先である教育局が入っている建物

をすること、また、市内モデル校を巡回し、授業内容や教授法の改善支援、及び、その他配属先が必要とする活動の支援を NGO と共に行うことである。帰国まで残り 3 ヶ月ほどである為、出来ることは限られるが、後任となる隊員も要請されているので、まずは土台を作り、後の隊員に残せる活動を行っていきたいと考えている。

◎学校訪問(計 2 校)

7/12、7/13 は教育局で南タンゲラン市の学校のスーパーバイザーを勤めている職員が行う、教師向けの講義に参加させてもらった。以前の配属先は環境局であった為、インドネシアの教育事情が分からず、指導案作成に頭を悩ませていたが、講義に参加させてもらうことでインドネシアの教育方針や指導方法などを知ることができたので大変勉強になった。



ポンドックジャヤ第二小学校にて

◎指導案作成、模擬授業

最初の活動として、JICA の支援によって作成された「環境」教科の教材を使用した指導案の作成を行った。IEPF(インドネシア教育振興会)という現地 NGO のサポートもあり、作成した指導案

はそのスタッフの前で模擬授業として実施、フィードバックをもらって加筆修正を行った。今後、「環境」の教科を担当することになる教師の一助となるよう、引き続き、教科書に沿った指導案を作成していく予定である。

◎ヒカリ小学校始業式

IEPF と日本の団体の支援によって建てられた「ヒカリ小学校」という学校が IEPF の事務所敷地内にある。私は、この学校で環境の授業を担当している先



生と共に交互で授業を行うこととなった。7/16 には始業式があったので、全校生徒約 300 名と今後授業をすることになる 4 年生のクラスに挨拶を行った。

◎縁日祭清掃活動

6/30、7/1 にはジャカルタのブロック M 地域にて「縁日祭」が開催された。4 月にチカランで行われた「さくら祭り」同様、PT.Minori のごみ拾いボランティアチームが清掃活動をするとのことだったので参加した。今回は「ジャカルタお掃除クラブ」「福助興業」も協力しており、会場内はごみが少ない状態が保たれていた。



会場内 3 か所にステージが設けられ、比較的規模の大きなイベントであった。

【交通面について～電車事情～】

現在住んでいるタンゲランからジャカルタまでは車で 1 時間くらいの距離であるが、通勤・帰宅ラッシュの時間帯は片道 3 時間かかることもあるそうなので、普段ジャカルタへ行く際は「電車」を利用することにしている。電車に乗ると最寄り駅からジャカルタ市内まで 20 分で行くことができる。時間も今のところ毎回定刻通りに出発しており、運賃は Rp3.000 (約 23 円) と格安である。乗り方は、日本のように交通系 IC カードが利用できる。カードを持っていない場合は、窓口にて 1 週間限定利用可能のカードをレンタルすることで乗車することができる。1 週間以内に返却をしなければデポジットとして預けている額が返却されない仕組みである。やや面倒ではあるが、切符よりもエコで良いシステムだと思う。



日本の電車と変わらないクオリティ